

番号	ご意見のタイトル(項目、訂正箇所等)	ご意見の内容	性別	年齢	七夕豪雨について	回答
1	P12 3 策定の基本方針 (4)地域活性化の方向性について	「地域活性化の方向性」において描かれたイメージ図について、6本の柱が地域活性化の周囲に描かれているが、麻機において「自然」は一部でなく、もっと大きな全体を包括するもの。この絵ではグリーンは輪に相当するのではないか。	男性	70歳以上	経験している (被害なし)	イメージ図の6本の柱「自然」「健康」「交流」「憩い」「共生」「体験」について、そのなかの「自然」は一部でなく、もっと大きな全体を包括するものであるとのご指摘はそのとおりであります。 イメージ図について再検討した結果、「自然」を核として中心に据え、「自然」と密接な関係にある残り5本の柱で取り囲み、6本の柱が連動することにより「自立発展型の地域活性化」の実現につながるとの意図を現したイメージ図に変更します。
2	P15 3 策定の基本方針 (5)将来の麻機遊水地の姿(工区別) 第3工区 アサギマダラの舞う遊水地 工区西側の道路沿いに桜を植える	アサギマダラ マダラチョウ科の大型のチョウ。長距離移動をする。マニアも多い。 ----- 第3工区の中に広いイベント広場を設けて、いろいろな年代の人たちにも利用できるようにする。 ※農家の人たちの朝市、支援学校の生徒たちの協力、城北浄化センターの協力で菖蒲の花を植える。駐輪場・トイレの設置	女性	60代	経験している (被害なし)	アサギマダラについては、現在も麻機遊水地で確認されております。 今後も種が定着することを願い、良好な自然環境保全の取組と環境に配慮した公園整備を進めてまいります。 本ランドデザインに掲示しました第3工区の計画平面図は、平成15年に作成したものであり、今後、様々なニーズに対応できるよう見直しを進めてまいります。 ご意見のあった工区西側道路沿いの桜植栽やいろいろな年代の人たちが利用できる広場の整備については、治水計画や自然環境保全の方針等と整合を図る必要がありますので、今後見直しを進める中で関係機関や地元自治会と協議してまいります。 また、農家の人たちの朝市や支援学校の生徒たちの協力等の提案についてはランドデザインが示す地域活性化の方向性と合致することから、これから進めていく地域活性化の取組に反映したいと考えております。
3	P22 4 今後の取組 (2)医療・健康・福祉のまちづくり (3)産業振興の可能性について	よくまとまった案だと思います。特に、名称を「麻機遊水地」とせず「麻機遊水地地区」とし、対象を遊水地だけでなく地域全体に広げ、地域の活性化を目指したところに、本ランドデザインの価値があると思います。 地方創生が大きな政治的課題となっている今こそ、今後の取り組みの中の「(2)医療・健康・福祉のまちづくり」と、「(3)産業振興の可能性」は、地方創生の流れに乗せ、遊水地の(公園)整備と同時進行を図ってはいかがでしょうか？ 遊水地の中と外の整備が調和してこそ、地域の価値が上がると思います。	男性	50代	経験している (被害なし)	今後の取り組みの中の「医療・健康・福祉のまちづくり」と、「産業振興の可能性」については遊水地の公園整備と同時進行を図っていき、遊水地の中と外の整備が調和してこそ、地域の価値が上がるとのご意見をいただきましたが、本誌も同様の認識を持っております。 来年度からは、治水事業、公園事業、自然再生事業の調整のほか、遊水地を取り巻く地元、学校、医療、福祉、企業が連携して活動していくための具体的な行動計画を策定し、麻機遊水地地区の活性化に向けた取組等について関係機関及び関係者の意思疎通を図っていきたくと考えております。 このことにより、遊水地の中と外の整備が調和し、地域の価値が上がることにつながっていけばと期待しております。
4	P22 4今後の取組 (3)産業振興の可能性 場所の選定について	産業振興のポテンシャルが高い地域としている場所は、貴重種が多く生息し生物多様性のポテンシャルが非常に高い場所と重なっています。また、反対に自然再生対象区域でも再生の可能性が低いと思われる場所もあります。場所の選定にあたっては、専門家の意見を聞き調査した上で、取り返しのつかないことにならないよう慎重に進めていただきたいと思ひます。百年後の静岡が豊かであるために！ 薬師地区は、遊水地の環境が劣化の一途をたどっているのに対し、多くの貴重種が生息するのに適した環境が保たれている稀な場所です。遊水地で姿を消してしまったもの、県内あるいは市内でここにしか生息していないものも含まれ、この環境が失われてしまうことはそのものの絶滅を意味します。 また、自然環境のシンボルエリア(P15)である第3工区の上流部に位置しているため、自然再生の観点からもその保全は重要な意味を持ちます。問題になっている外来種の侵入対策についても同じことが言えます。 薬師地区には健康増進施設、障がい者福祉施設、老人ホーム、環境学習施設等があり、そこを利用する方たちにとっても、のどかな田園風景は大切な癒しの場となっています。また、唯一残る谷戸田では、子どもたちと野良仕事を楽しみながらカエルのために冬水田んぼを作る活動を17年前から続けているグループがあり、多くの子どもたちが生きものと一緒に育っています。若い世代にとっても大変魅力のある場所で、今後様々な活動の展開が期待できると思ひます。 麻機湿原が環境省の重要湿地に選定された理由は、固有種や多くの希少種が生息しているという事ですが、そのほとんどが水田環境に依存したものです。ラムサール登録を目指す(P19)のであれば、遊水地周辺の水田とその流域を含めた保全をしっかりと行うことが求められます。ラムサール条約では水田決議が採択されています。市街地から近く様々な人間活動が行われている場所に奇跡的に残っている水田を守るからこそ、人と自然の共生による地域振興に繋がることだと思ひます。	女性	50代	経験している (被害なし)	本ランドデザインでは、基本方針に「地域の自然環境や立地特性を生かした自立発展型の地域活性化」をうたい、その方向性の柱として「自然環境の再生」を掲げています。 ご意見をいただいたとおり、第3工区を含めたその周辺は、産業振興のポテンシャルが高い地域であるとともに、貴重種が多く生息し生物多様性のポテンシャルが非常に高い場所と認識しておりますので、今後、外来種の侵入対策を含めた自然再生について、専門家の意見をふまえて進めていきたいと考えています。 また、遊水地周辺で様々な活動を行っているグループとの連携は、地域の価値を高めていくうえで大変重要であると考えておりますので、これからも情報交換等に努めてまいります。 なお、ラムサール条約の登録に関しては、これから可能性の検討を進めることとしておりますので、貴重なご意見としてお伺いし、今後の参考とさせていただきます。